

# M3S CDI システム

Parts No.185-101 対応車種 H2/750SS

この度は、PMCオリジナル M3S CDI システムをお求めいただきまして、誠に有難うございます。

## 注意:本製品を取り付けしご使用になる前に

- 必ず本取り扱い説明書と同梱されているコーションラベルをよくお読み下さい。
- 必ず車輛メーカーの発行する配線図を参照して下さい。

## 1; 付属品の確認

- ① CDI本体 ×1 個
- ② デザインプレート ×1 枚
- ③ 本説明書
- ④ コーションラベル

## 2; 取り付ける前に

- 安全の為、作業を始める前には、必ずバッテリーを取り外して作業を行って下さい。
- 左右のサイドカバーとシートを取り外して下さい。
- STD の CDI 本体を固定しているボルト4本を取り外して下さい。取り外したボルトは再使用しますので、紛失しないようにご注意下さい。
- 警告;M3Sはピックアップセンサーと点火コイルは、車輛の純正品もしくは、STDと同等品の組み合わせに対応しております。
- M3Sと併用する点火システムの各部品が、サービスマニュアルに記載されている数値を基に、併用できる許容数値の部品である事をご確認下さい。

## 3; STD 配線を取り外す前に

- STD の CDI 配線を一度に全て取り外しすると、差し間違えなどによる点火不具合を招く恐れがあります。配線を接続する際には、一本ずつ M3S の配線と差替えながら作業する事をお勧めします。

## 4; ゼネレーターおよびイグニッションコイルの接続について

配線図をご参照下さい。

- M3S本体に、赤と白のコードが各3本あり、黒色ビニールチューブに、赤と白コードを各1本まとめてあります。このひとまとめにした3本の黒色チューブをA、B、Cと仮定します。
- Aから出ている白コードをLの配線に接続した場合、同じくAから出ている赤コードをLのイグニッションコードに接続して下さい。
- Bから出ている白コードをCの配線に接続した場合、同じくBから出ている赤コードをCのイグニッションコードに接続して下さい。
- Cから出ている白コードをRの配線に接続した場合、同じくCから出ている赤コードをRのイグニッションコードに接続して下さい。
- 仮に、Aの白とLを接続したのに、Aの赤をRに接続してしまうと正常に点火しません。くれぐれも互い違いに接続しないようにご注意下さい。

## 5; 各配線の接続確認

各配線を間違いの内容に接続した事を、再度ご確認ください。

M3S本体を、STDのCDI固定ボルトを使用してバッテリーケースにしっかりと固定して下さい。

以上で取り付け作業は終了となります。

ご不明な点は、購入店もしくは、(株)ピーエムシーまでお問合せ下さい。

